

〈特集〉

# 防災 減災

## 2022

ヒナン  
避難  
について  
考える

全国各地で毎年のように発生する、大雨、台風、地震などの自然災害による被害。これらの災害から命を守るためには、一人ひとりが日ごろから防災・減災知識を身に付け、災害への備えをしておく、そして災害発生のおそれがある場合には防災情報を収集して迅速に避難することが重要です。

「防災・減災2022」特集では、「避難」について考えていきます。



### 主に何が変わったの？ 今回変わったポイント



※わかりにくい語句は次のページで解説！

1. 夜間から朝にかけて大雨などが予想される場合は、**夕刻までに避難情報を発令することがあります。**
2. **夜間でも避難情報を発令します。**
3. 避難情報を発令する際に、夜間を含め**緊急速報メール※**を発信します。
4. 判断基準を、降水量に基づく基準から気象庁が発表する「**土砂キキクル※**」、「**土砂災害警戒情報※**」などの**防災気象情報**に見直しました。

岡谷市の

土砂災害の




「避難情報発令基準」

を変えました

令和3年8月の大雨により、岡谷市川岸地区では土石流が発生したほか、市内各所においても河川が溢水し、住宅などに甚大な被害が及びました。

市では、気象庁や県、地質や防災の専門家によるアドバイザー会議や、アンケート結果などを基に検証を行い、土砂災害の「避難情報発令基準」を見直しました。

## 避難情報発令基準 (土砂災害)

警戒レベル 新たな避難情報等	新たな発令基準内容
<p><b>警戒レベル3</b> <b>高齢者等避難</b> (障がい者、妊産婦、乳幼児等)</p> 	<p>以下の判断基準を基本とし、長野地方気象台からの助言、現地情報などを参考に総合的に判断し発令します。</p> <p>1又は2のいずれかに該当する場合</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>大雨警報(土砂災害)※が発表され、かつ、土砂キキクルが「警戒(赤)」となった場合</li> <li>警戒レベル3高齢者等避難の発令が必要となるような強い降雨を伴う前線や台風等が、夜間から明け方に接近・通過することが予想される場合(夕刻時点で発令)</li> </ol> <p>●警戒レベル3「高齢者等避難」は、極めて短時間で局所的な大雨の場合等、明らかに土砂災害警戒情報には至らないと判断される場合は発令しないこともある。</p> <p>住民のとりべき行動：高齢者等は危険な場所から避難、その他の人は避難準備</p>
<p><b>警戒レベル4</b> <b>避難指示</b></p> 	<p>1～5のいずれかに該当する場合</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>土砂災害警戒情報が発表された場合</li> <li>土砂キキクルで「危険(紫)」となった場合</li> <li>警戒レベル4避難指示の発令が必要となるような強い降雨を伴う前線や台風等が、夜間から明け方に接近・通過することが予想される場合(夕刻時点で発令)</li> <li>警戒レベル4避難指示の発令が必要となるような強い降雨を伴う台風等が、立退き避難が困難となる暴風を伴い接近・通過することが予想される場合</li> <li>土砂災害の前兆現象(山鳴り、湧き水・地下水の濁り、溪流の水量の変化等)が発見された場合</li> </ol> <p>●夜間・未明であっても1～2又は5に該当する場合は、警戒レベル4避難指示を発令する。</p> <p>住民のとりべき行動：全員が危険な場所から避難</p>
<p><b>警戒レベル5</b> <b>緊急安全確保</b></p> 	<p>1～3のいずれかに該当する場合 (災害が切迫)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>大雨特別警報(土砂災害)※が発表された場合 (災害発生を確認)</li> <li>土砂災害の発生が確認された場合</li> <li>土砂キキクルで「災害切迫(黒)」となった場合</li> </ol> <p>●上記1～3は立退き避難から命を守る行動変容を特に促す場合に発令するものであり、必ず発令しなければならないわけではない。一方、1～3以外の場合においても居住者等に行動変容を求める場合は発令する。</p> <p>住民のとりべき行動：命の危険 直ちに身の安全確保!</p>

上記表中の土砂キキクルの基準は、令和4年6月中に変更予定の内容で記載しています。

### 避難のためのキーワード

※大雨警報(土砂災害) | 気象庁発表

大雨による重大な土砂災害や浸水害が発生するおそれがあると予想したときに発表される防災気象情報。

※大雨特別警報(土砂災害) | 気象庁発表

台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想される場合に発表される防災気象情報。

※緊急速報メール | 国や地方公共団体が配信

国や地方公共団体が配信する災害・避難情報を、特定の地域へ一斉配信するメール。

※土砂キキクル | 気象庁発表

大雨による土砂災害発生の危険度の高まりを地図上で5段階に色分けして示す情報。大雨警報(土砂災害)、土砂災害警戒情報、記録的短時間大雨情報等が発表された際に、危険度が高まっている場所を把握することができます。

※土砂災害警戒情報 | 都道府県と気象庁発表

大雨により命に危険が及ぶ土砂災害がいつ発生してもおかしくない状況となったとき、市町村長が警戒レベル4避難指示を発令する際の判断や住民の自発的避難の参考となるよう、対象となる市町村を特定して発表される防災気象情報。

# アンケート結果から見た避難の意識と今すぐできるコト。

《調査概要》

- 実施期間：令和3年10月
- 対象総数：1,564件
- 回収数：1,149件
- 回収率：73.47%

## 避難情報と避難行動に係る市民アンケート調査結果

**Q1** 防災ガイドで身の回りなどの危険を確認しましたか？

-1

・はい	49%	約5割が身の回りの危険を確認していなかった	➡	今すぐできるコト	1へ
・いいえ	44%				

**Q1** 「わが家のハザードマップ」は作成しましたか？

-2

・はい	6%	9割が作成していません	➡	今すぐできるコト	1へ
・いいえ	87%				

**Q2** 避難行動は起こしましたか？

・はい	7.6%	9割が行動を起こさなかった	➡	今すぐできるコト	2へ
・いいえ	92.1%				

**Q3** 避難情報等が発令されたことを知っていましたか？

・土砂災害警戒情報	いいえ	37.7%	➡	今すぐできるコト	3へ
・高齢者等避難	いいえ	33.9%			
・避難指示	いいえ	40.0%			

約4割が発令を認識していなかった

令和3年8月の大雨災害において、高齢者等避難・避難指示の発令区域、土砂災害が発生した区域にお住まいの方、避難所に避難された方を対象に「避難情報と避難行動に係る市民アンケート調査」を行いました。

アンケート調査結果を参考に、一人ひとりが自分の身の安全を守るためにしなければならないことを一度考え、「**自らの命は自らが守る**」という意識を再認識する機会にしましょう。

今すぐできるコト **1. 防災ガイドで身の回りの危険を確認しよう！**

防災ガイド1ページ目に掲載の「わが家のハザードマップ」には、家からの避難経路などが書き込めるようになっています。

わが家のハザードマップの作り方動画はこちら

こちらからダウンロードできます

自宅周辺にどのような危険があるのかを事前に防災ガイドのハザードマップで確認しましょう。

- 〈事前に確認する内容〉
- ①自宅の立地
    - 土砂災害警戒区域や浸水想定区域など
    - 周辺の崖や土手
  - ②自宅周辺の危険箇所
    - 川、橋、塀、側溝など障害や危険物
  - ③自宅の構造
    - 自宅内の安全な場所の確認
  - ④複数の避難経路
    - 迂回路など複数の経路を！

☐ **岡谷市防災ガイド** (改訂版)  
 全区域のハザードマップ3種類、わが家のハザードマップが掲載されています。

今すぐ  
できること

## 2. 「難」を避ける4つの行動を確認しよう！

決めておこう！

普段から「どう行動するか決めておく」ことが重要です。

1 行政が指定した避難所  
への避難



防災ガイドで避難所の場所を確認しておきましょう。

2

安全な親戚・知人宅  
への避難



普段から災害時に避難することを相談しておきましょう。

避難

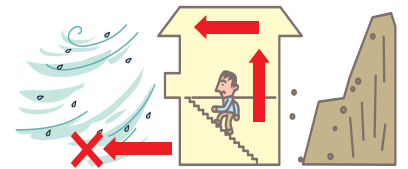
3 安全なホテル・旅館  
への避難



通常の宿泊料が必要です。事前に予約・確認しましょう。市内に提携している宿泊施設もあります。

4

屋内安全確保  
(垂直避難など)



大雨で足元が悪いなど避難することがかえって危険な場合、壊れにくい建物の高い階(斜面の反対側)に避難しましょう。自宅から動けない場合は斜面から離れた部屋など、より安全な場所へ避難しましょう。

普段から準備！

①家族との連絡手段を決めておく

②非常持出袋を用意する

〈非常持出袋に入れておくものの例〉

- 常備薬
- 現金(紙幣・100円玉・10円玉)
- 預金通帳・保険証・免許証などのコピー
- その他必要なもの

もしもの災害に備えて

### 避難行動要支援者登録制度

「防災情報に気づけるか心配…」 「一人では避難できない」 「親族の緊急連絡先を知らせておきたい」 など、避難行動に不安のある場合は、避難行動名簿に登録をしておくことで災害時に支援を受けやすくなります。

詳しくは、社会福祉課(内線1251)まで

防災訓練などで活用し有事に備えます

災害時の安否確認や救助活動がスムーズに行えます



支援者

地域で日ごろから見守りや声かけを行います



避難行動要支援者

個別の避難計画を作成しておくことでより安心です

今すぐ  
できるコト

# 3. 自ら防災気象情報を取得し、行動を!

岡谷市防災情報

気象庁のキキクルなどの情報が確認できます。



岡谷市防災情報

メール配信@おかやに登録しましょう!

防災行政無線情報、気象情報、地震速報などを携帯電話やパソコンに配信しています。登録は無料です。(企画課で登録のお手伝いもできます)

防災ラジオ

防災行政無線を受信して放送します。



岡谷市ホームページ

災害時の緊急情報を発信します。



岡谷市ホームページ

水位情報・雨量情報

国・県・市内の雨量計などを確認できます。



国・県の雨量計  
3か所



岡谷市の雨量計  
11か所

シルキーチャンネル

LCVCH11で放送中。災害時には市からの災害情報を随時発信します。

普段から、防災気象情報に気をつけ、早めに行動することが大切です。

市からのメール配信は、登録すると、重要な情報がいち早く届きます。ぜひ登録をお願いします。

メール配信@おかや  
メール配信登録方法



メール登録

①か②の方法で登録してください。

- ① QRコードからサイトに接続後登録。
- ② 下記アドレスに空メールを送信。返信されたメールに従い登録。  
t-okaya@sg-m.jp

※QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です



● 簡易テント



● パーティションと段ボールベッド



避難所といえば、仕切りがなく、床にシート、もしくは布団が敷かれているといった状況が多いため、プライベートの空間が確保されず、安心感のないイメージを抱く人も多いのではないのでしょうか。

近年の避難所はこのような環境が改善され始めています。その改善策のひとつが、テントやパーティションの設置です。これによりプライベートな空間を確保することができるため、人からの視線を遮り、ストレスを感じることなく、服を着替え、体を拭くことができます。また、エコノミークラス症候群になるリスクを軽減する効果もあると言われています。市では、避難所に簡易テント、パーティションを整備し、また要配慮者を想定した段ボールベッドを設置するなど、避難所の環境整備を進めています。併せて、飛沫感染防止や占有スペースの割振りなどのコロナ感染対策にも万全を期し、有事に備えています。

避難所の環境整備を進めています。

# 自助・互助の大切さ。

岡谷市自主防災組織連絡協議会会長  
濱幹雄さんに、自主防災組織についてお話をうかがいました。

**今** の世の中、何が起きるか誰にもわかりません。現在、世界中で目を覆うばかりの誰も想像しなかったことが現実起きています。

有事の際は、自分自身の行動が生死をわけます。ことが起きた場合、自分ひとりではなんとかしようと考える行動してはいけません。逃げて生き延びる、命をつなげることが最優先の課題です。

各地区の「自主防災組織」は、最前線で動く組織です。でも、その組織はハード・ソフト両面がいくら充実していても最後は人の力です。

自主防災組織は、助け合って生き延びることを目標にしています。

いつ何が起きるかわからない状況の中、自分を守り、お互いをいたわることの大切さがしみじみと身に染みます。近隣との付き合いや生活の基盤である地元との関わりが薄らいでいますが、今こそ近隣や地元との関係を見直し、お互いの絆を強めることが大切です。

今年もまた自然災害や予期せぬ出来事が起きることが懸念されます。自主防災組織は自助と互助のための組織であることの大切さを再認識し、有事の際にいかに迅速に行動でき、皆の安全安心を確保することができるか、あらためて議論して準備したいと考えています。



岡谷市区長会 会長  
岡谷市自主防災組織連絡協議会 会長  
花岡区長

はま みきお  
**濱 幹雄** さん

花岡区副区長として平成18年7月の豪雨災害に対応した経験を生かし、岡谷市全体の自主防災に力を尽くしています。

6月は 長野県土砂災害防止月間です。

## 防災訓練

土砂災害防災訓練を実施します

土砂災害はいつどこで発生するかわからず、一度発生すると大きな災害につながります。これに備え、大雨による土砂災害を想定した情報伝達訓練と避難訓練を実施します。

- 日時 6月12日(日)  
午前7時30分～10時(予定)
- 訓練対象地区  
三沢区(会場：三沢区コミュニティ施設)
- 訓練参加機関など  
三沢区、岡谷市消防団(第8分団)、岡谷警察署、岡谷市など
- 訓練内容  
災害対策本部設置訓練、避難誘導訓練、避難所の開設・運営、土のう作成、土のう積み訓練など

当日、午前8時20分ごろから、防災行政無線(防災ラジオ、防災メールを含む)の放送、緊急速報メールの配信があります。訓練ですので、災害と間違えないようにしてください。

## 防災講演会

「いざというときに逃げる勇気を！」  
～防災・減災のための心理学～

- 講師  
菊池 聡 氏  
さとる  
信州大学人文学部教授  
信州大学地域防災減災センター長  
1963年埼玉県出身



- 開催日時  
7月2日(土) 午前9時30分 開場  
午前10時 開演
- 会場  
カノラホール(小ホール)
- 申込み方法  
6月22日(水)までに電話かメールにて危機管理室へお申し込みください。  
TEL: 23-4811 (内線1592)  
E-mail: kiki@city.okaya.lg.jp

入場無料

※新型コロナウイルス感染症対策のため、入場人数を制限します。

■ 問合せ：危機管理室 内線1592